

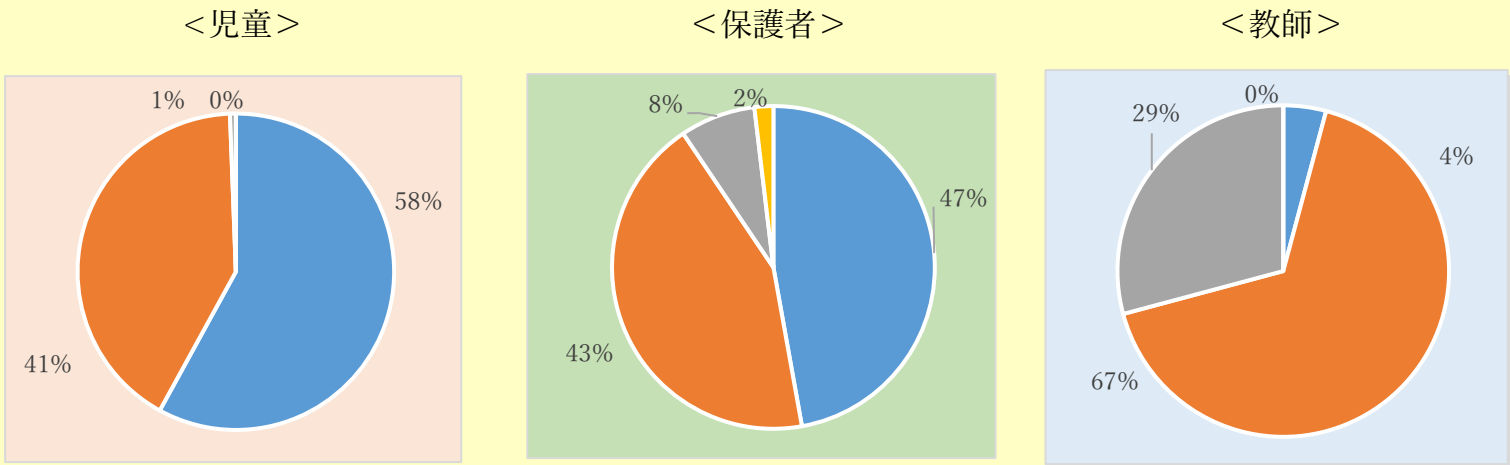
令和 8 年度 松蔭小学校評価アンケートの結果と考察（前期）

令和 8 年 7 月実施

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

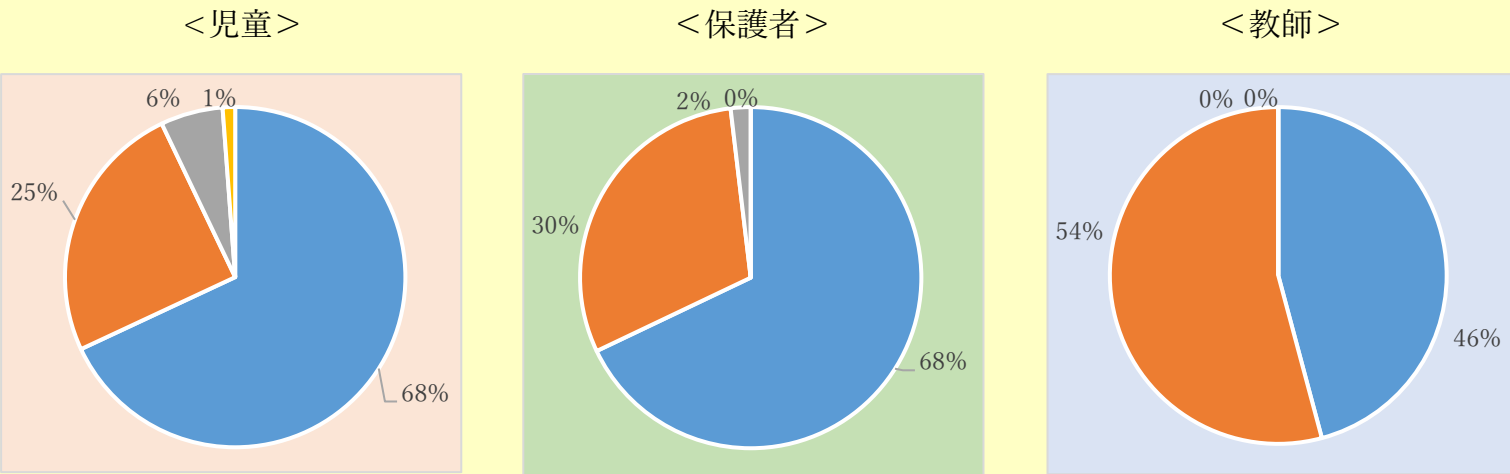
～校訓「あかるく」～ … 「自己有用感」に関する項目

◇ きちんと挨拶ができている。(児童・保護者・教師)



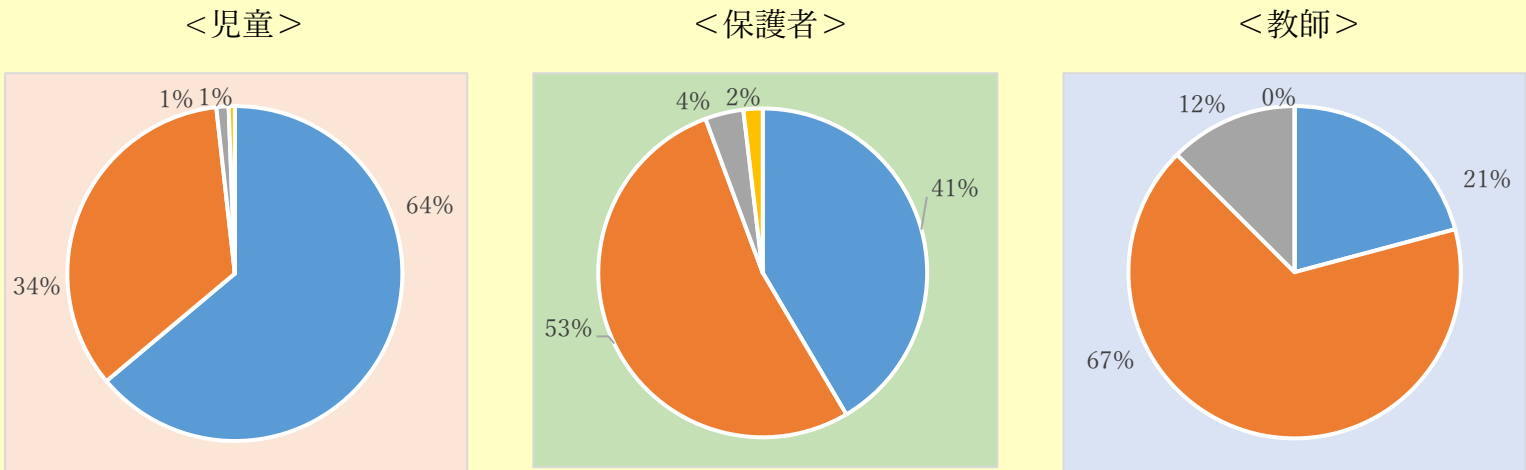
- ・ 「よくできている」と判断した割合について、児童・保護者と教師間に大きな開きがある。
- ・ 児童は、挨拶や返事ができていると捉えている。(99%)
- ・ 児童と教師の認識の差が大きい。「きちんとした挨拶」の姿について、児童と教師が共通認識を図る必要がある。

◇ 学校は楽しい・楽しく学校に通っている・児童は学校生活を楽しんでいる。(児童・保護者・教師)



- ・ 肯定的な意見は3者とも 93%を超えており、学校全体として、児童は生活を楽しんでいると判断できる。
- ・ 一方で、肯定的でない児童の割合が3者の中で一番多く、気付きや対応の在り方について再考が必要である。
- ・ 児童の中には、「まったくそう思わない」と感じている児童がおり、早期の相談や対応が必要である。

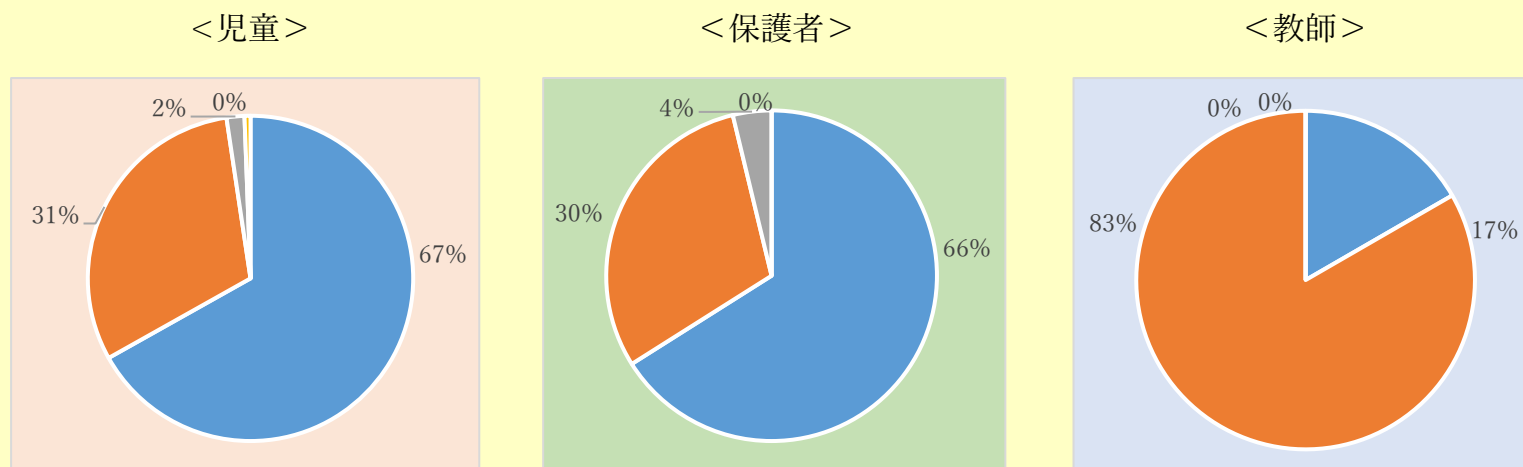
◇ きまりを守って生活している。(児童・保護者・教師)



- ・ 児童も保護者も、高い肯定率となっており、きまりを守って生活できていると認識している。
- ・ 一方で、教師は「よくできている」割合が児童の約 3 分の 1 であり、また保護者の約半分と低く、児童との認識に差がある。
- ・ 児童と教師が、「きまりを守る」ことについて、また、その姿や具体的な行動について共通認識を持つ必要がある。

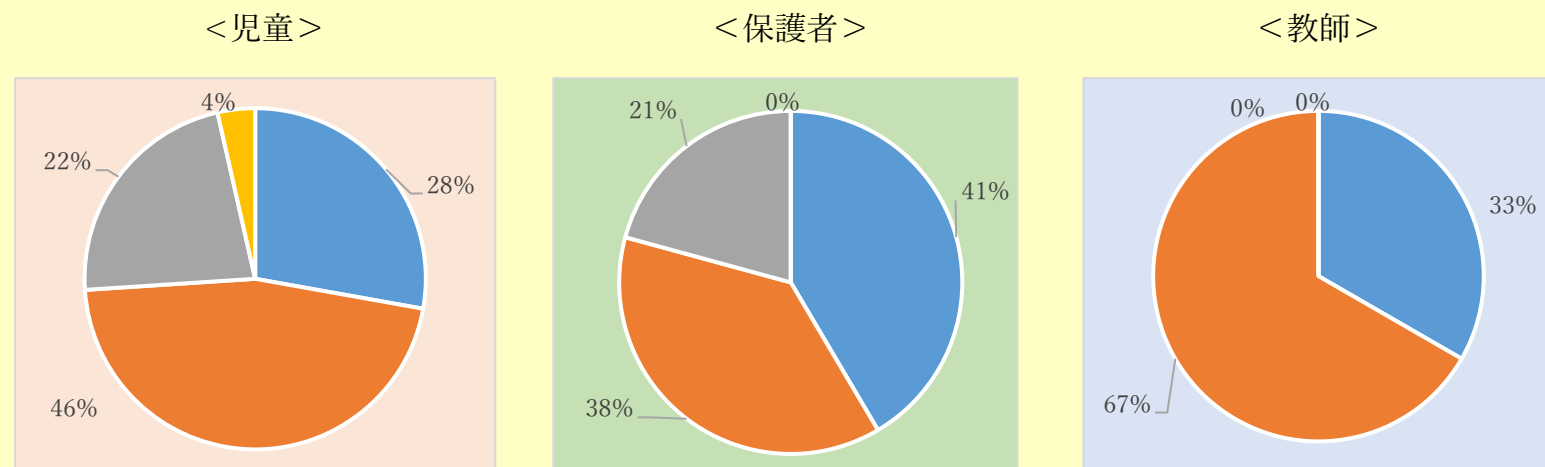
～校訓「やさしく」～ … コミュニケーション能力に関する項目

◇ 友達にやさしく、親切に接している。(児童・保護者) 思いやりを持ち、仲良く過ごしている。(教師)



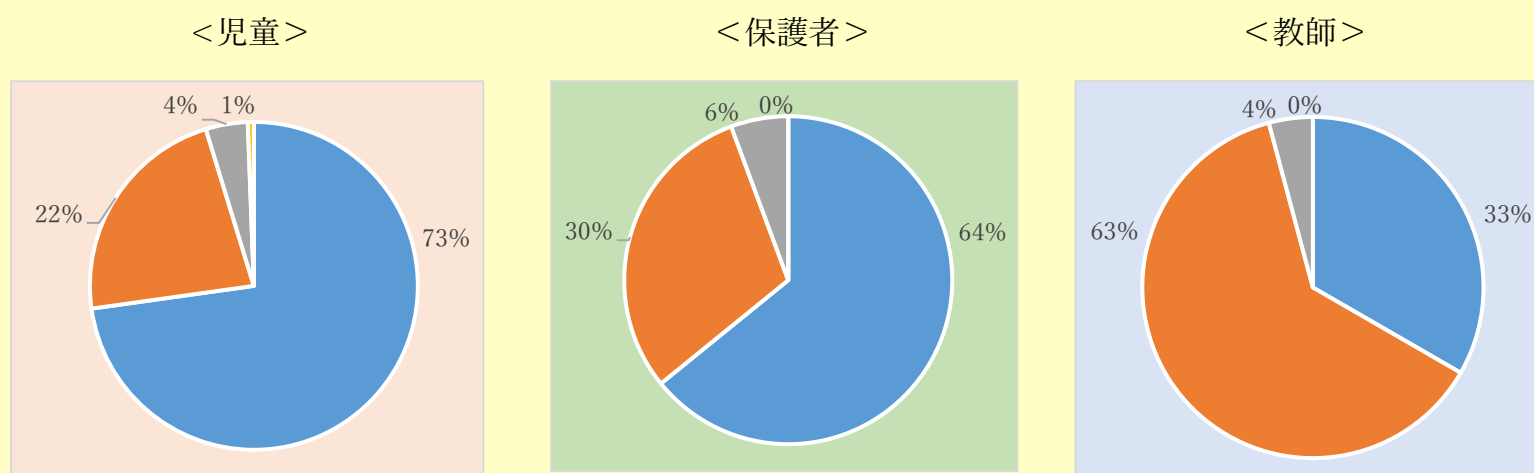
- ・ 3者とも肯定的な意見が96%を超えており、非常に満足度の高い項目と言える。
- ・ 教師の肯定的な意見が100%であり、日常生活の中で問題が起きていても解決していこうとしている姿勢が分かる。
- ・ 一方で、友達への接し方や交友関係に不安を感じている児童・保護者が一定数いることも念頭に置き、指導や見守りをする必要がある。

◇ 手伝いをよくしている・できている。(児童・保護者・教師)



- ・ 児童と保護者については、全体の質問項目の中で最も肯定率が低い。
- ・ 教師の肯定的な意見が100%であり、友人の手助けや係の仕事など、児童は学校生活の中で「手伝いができている」と捉えている。
- ・ 「まったくできていない」と認識している児童が、一定数いる。
- ・ 「自らが担うべきこと」の認識や役割分担について、学校や家庭で話し合う機会を持つなどすると、肯定率は高まりそうである。

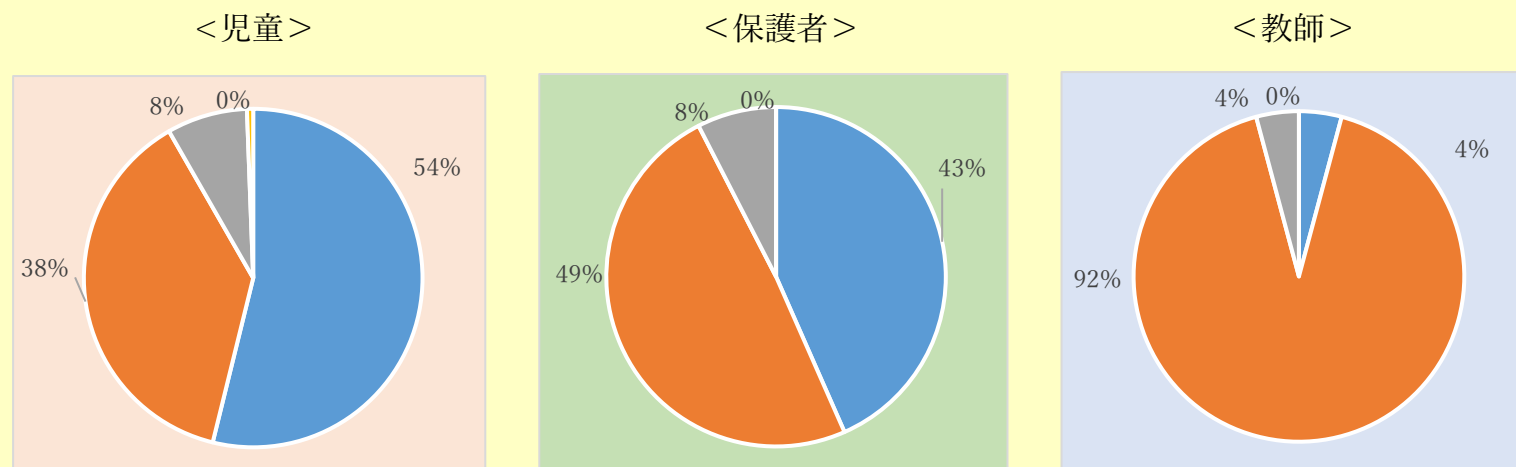
◇ よく話をし、コミュニケーションをとっている。(児童・保護者・教師)



- ・ 児童と保護者はほぼ同様な傾向にあり、肯定率(特に「よくできている」)が高い傾向にある。
- ・ 家庭内で、よく会話ができていていると感じている児童が多いことが分かる。
- ・ 一方で、コミュニケーション不足を感じている児童や保護者も一定数おり、会話や機会の持ち方について振り返る必要がある。
- ・ 児童とのコミュニケーション不足を感じている教師が若干数いることが分かる。指導・支援の在り方について振り返る必要がある。

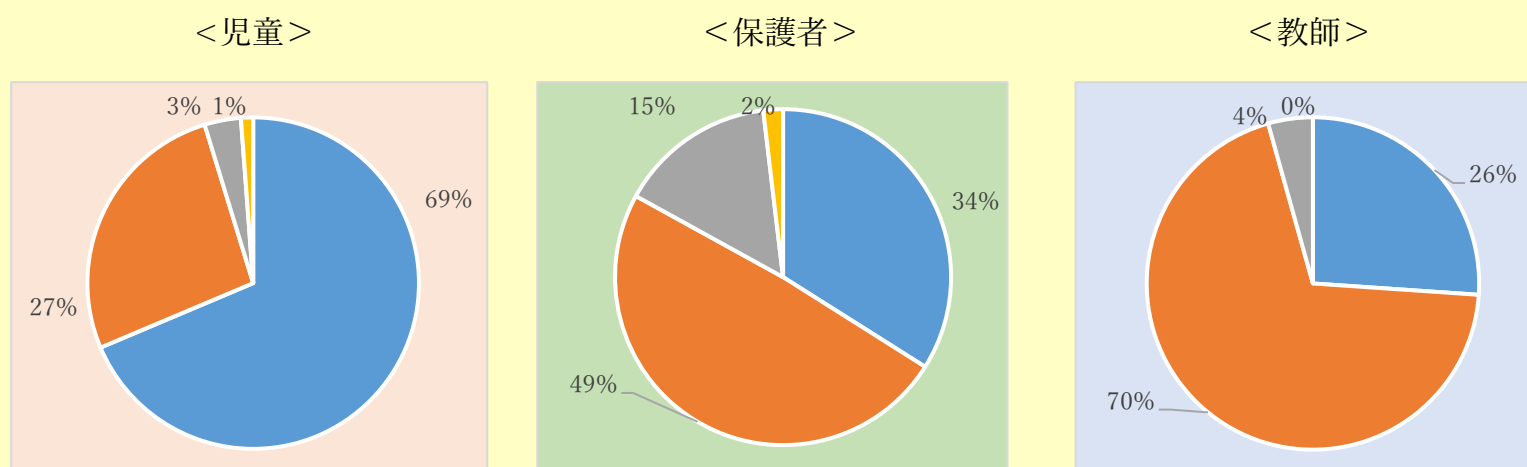
～校訓「たくましく」～ … 向上心・忍耐力に関する項目

◇ 基本的な生活習慣が身に付いている。＜早寝・早起き・朝ご飯＞（児童・保護者・教師）



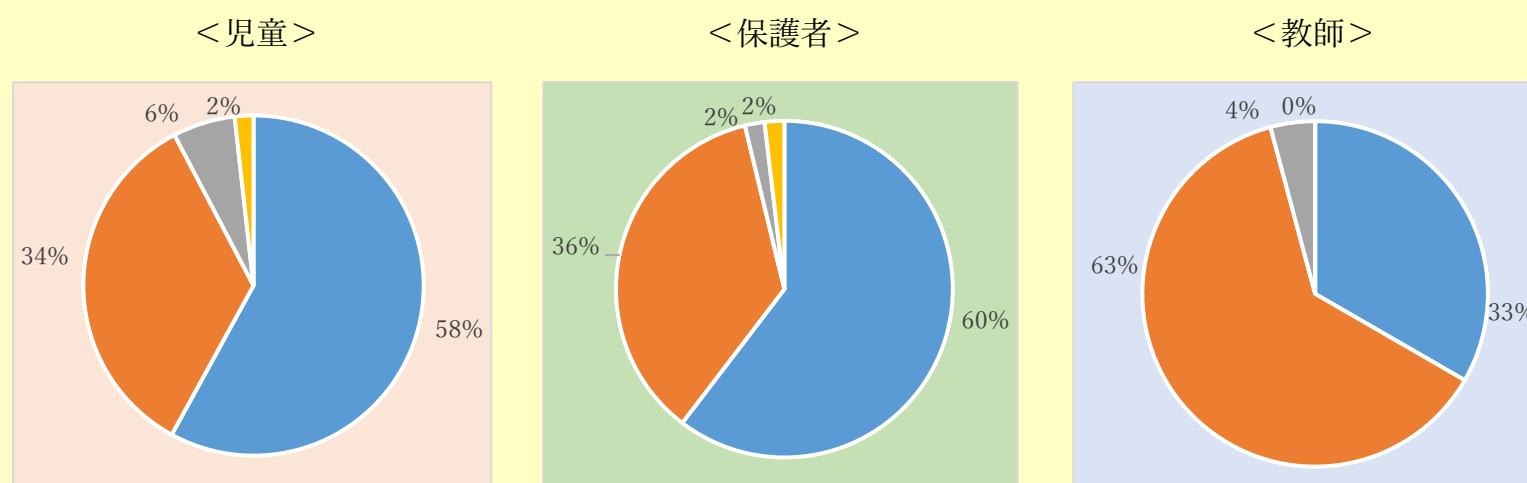
- ・ 教師は、基本的な生活習慣が身に付いていると感じているが、「よくできている」が5%未満と低くなっている。
- ・ 児童と保護者の基本的な生活習慣についての認識は、ほぼ同じ傾向にある。
- ・ 基本的な生活習慣が乱れがちな児童については、学校と家庭が協力して指導や支援をしていくよう努めていきたい。
- ・ 家庭における生活習慣についての困り感を、学校と家庭が共有できるようにしていきたい。

◇ 家庭学習の習慣が身に付いている。（児童・保護者・教師）



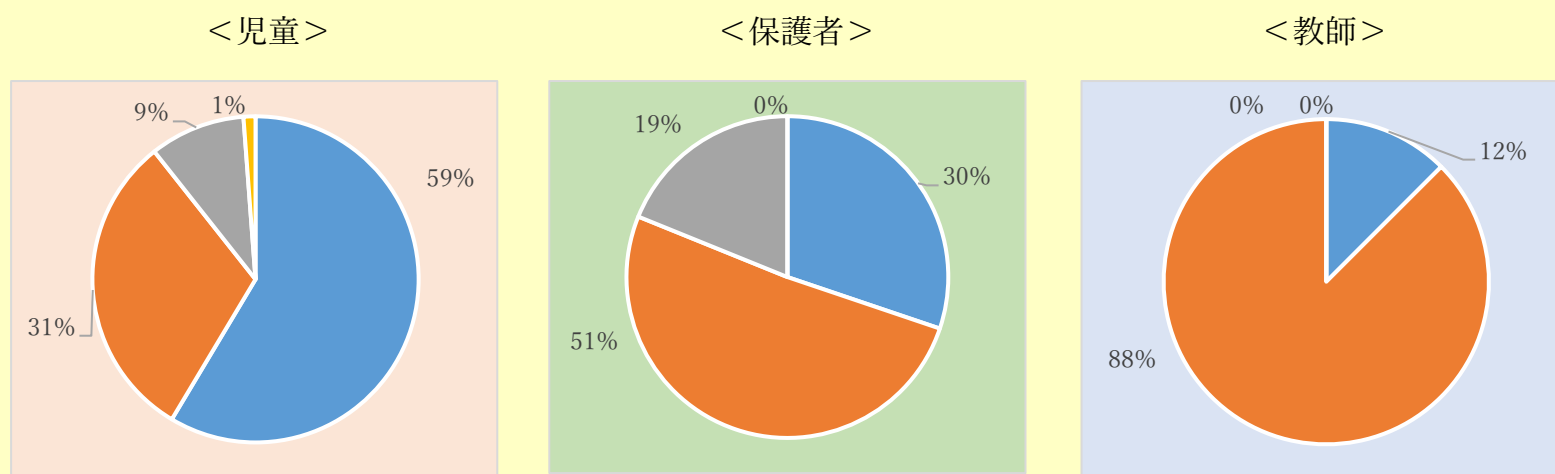
- ・ 3者とも肯定率は高いが、児童の「よくがんばっている」という認識が一番高い。
- ・ 一方で、肯定的でない認識は、保護者が15%と一番高くなっている。（もう少し頑張ってもらいたいと感じている。）
- ・ 具体例を提示したり、家庭内で話し合ったりして、よい家庭学習の取り組み方について共通認識を図る必要がある。

◇ 授業は分かりやすい。分かりやすい授業に努めている。（児童・保護者・教師）



- ・ 児童と保護者は、ほぼ同じ傾向にある。概ね良好な結果ではあるが、不安を感じている児童や保護者が一定数いる。
- ・ 教師も、分かりやすい授業を実践しようと意識・努力していることが分かるが、改善点を感じている教師もいる。
- ・ 3者とも肯定率は90%を超えるが、肯定的ではない割合が一番高いのが児童である。
- ・ 授業や学習に不安を感じている児童が一定数いることを念頭に置き、個別最適な指導を続けていく必要がある。

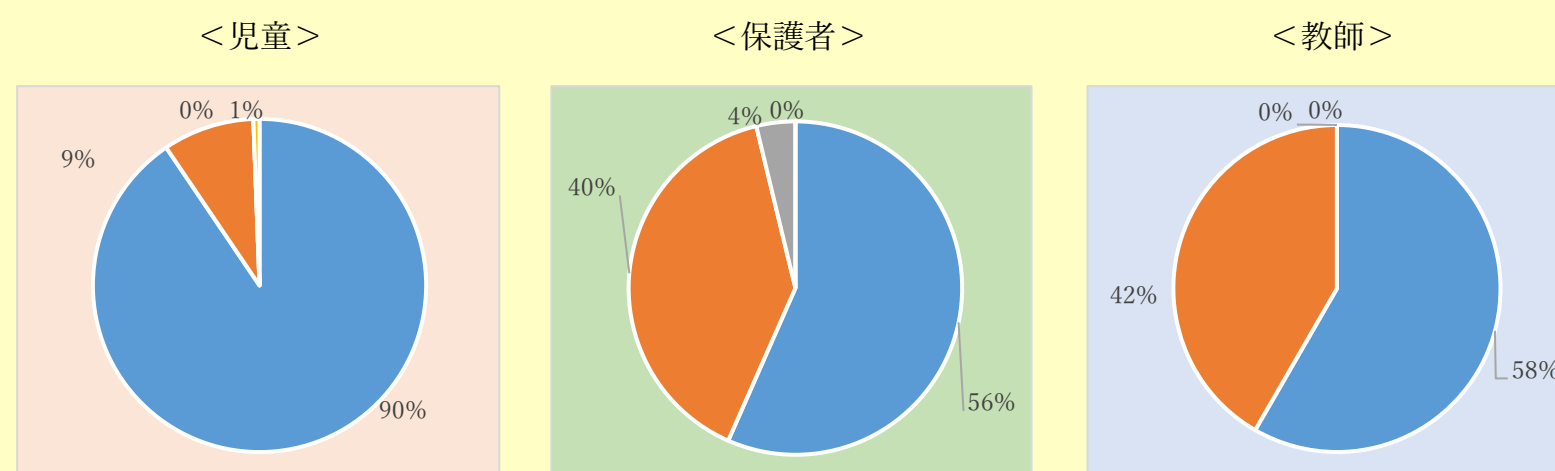
◇ めあてを決めて最後までがんばっている。(児童・教師)



- ・ 教師は、肯定的な意見が 100%であり、最後までがんばっていると認めているが、「よくあてはまる」が 12%と 3 者の中で一番低い。
- ・ 約 20%の保護者が、もう少し根気強さがほしいと感じていることが分かる。
- ・ めあて達成の具体例や姿を例示したり、課題点を話し合ったりして、認識を共有する必要がある。

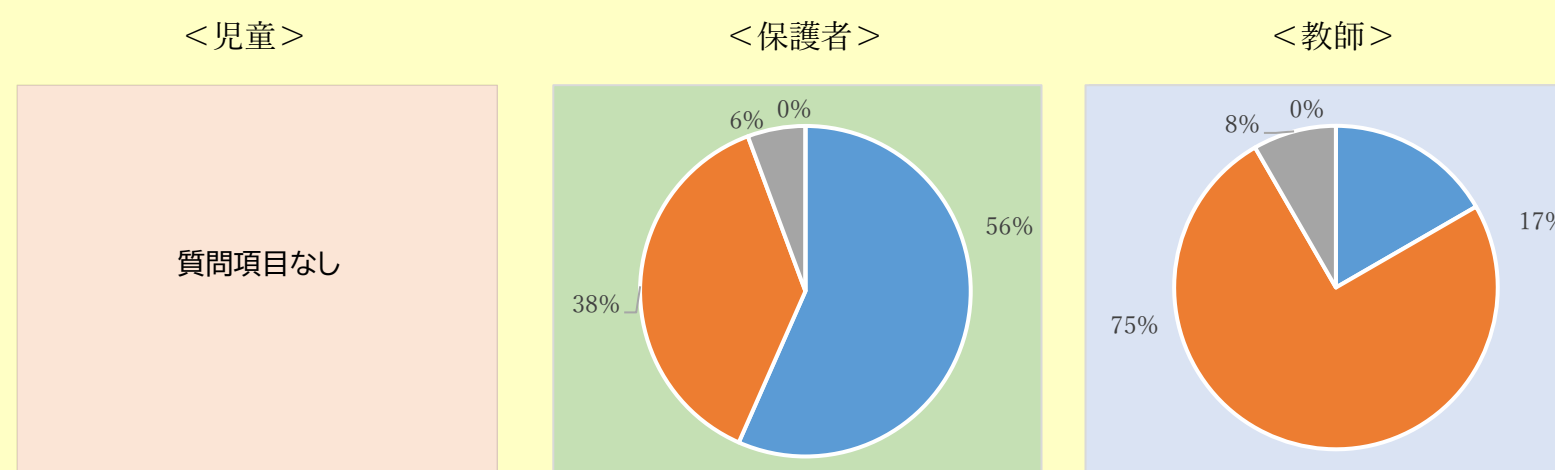
安全・安心な教育環境の整備 ～家庭の協力・地域の支援～

◇ 安全に気を付けて生活している。(児童) 学校は、安全確保のために努力している。(保護者・教師)



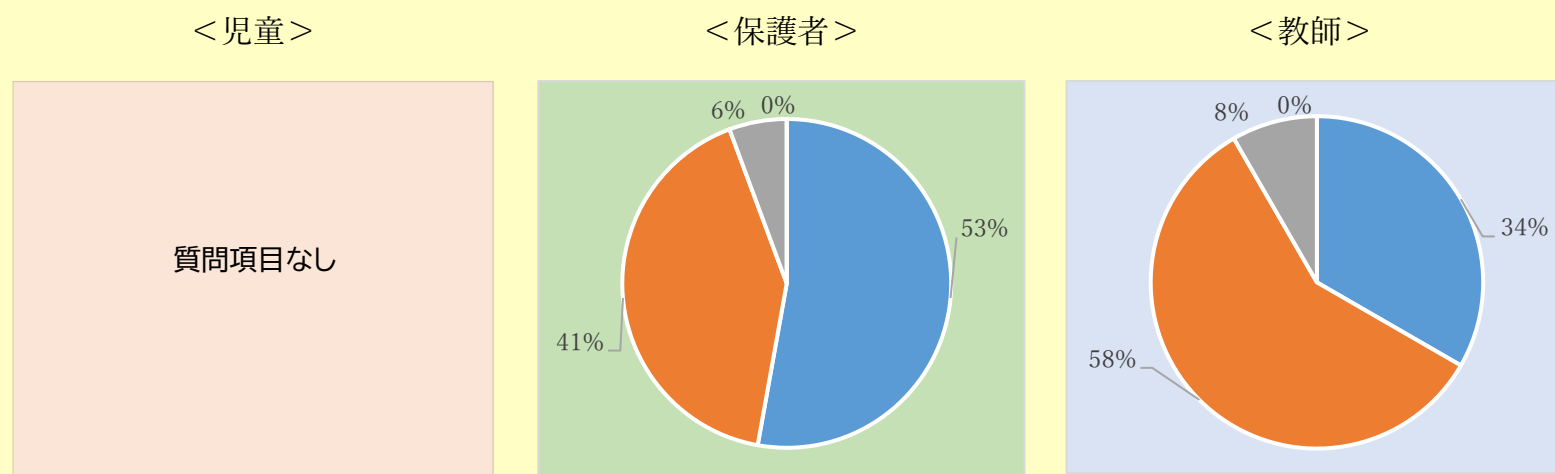
- ・ 児童は、「よくあてはまる」が 90%と、非常に高い肯定率となっている。
- ・ 教師も、児童の安全確保のために努力していることが分かる。
- ・ 若干の不安を抱えている保護者の意見も一定数あるため、引き続き安全・安心な学校になるよう努めたい。

◇ 学校は、広報や HP 等で情報を積極的に発信している。(保護者・教師)



- ・ 2者とも肯定的な意見は 90%以上となっている。
- ・ 保護者は、全体的に評価をしているものの、情報発信の頻度等に不満を感じている方が一定数いる。
- ・ 教師は、「よくできている」が 17%未満であり、やや積極性に改善の余地を感じていることが分かる。
- ・ 限られた時間の中で、有効に働く情報発信の仕方を模索する必要がある。

◇ 学校は、保護者や地域との協力体制がとれている。(保護者・教師)



- ・ 保護者は、全体的に肯定的な評価をしているものの、協力体制に肯定的ではない評価をしている方が一定数いる。
- ・ 協力体制やその在り方に課題や反省を感じている教師が、一定数いることが分かる。
- ・ 学校・家庭・地域連携の在り方について、学校運営協議会をはじめ、様々な機会を生かして協議したり情報発信したりしていきたい。

＜自由記述＞ ～保護者の方より～

- いつも丁寧なご指導ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- いつも子どもを教育していただき、ありがとうございます。学校生活を通して、特に精神面が少しずつ成長してきているように感じます。夏休み中に体力を落とさないように気をつけようと思います。2学期もよろしくお願いします。
- 1学期、大変お世話になりました。おかげさまで大きなケガや病気をすることなく元気に学校に通うことができました。2学期もどうぞよろしくお願いします。
- 校長先生の挨拶タッチが浸透して、特に高学年の子供達が1年生に自然とタッチする姿をたくさん見ました。素敵な習慣をつくっていただいたと思います。
- 学校全体のやり方ではなく担任のやり方で動くため、担任ごとにやり方が違って良かった悪かったの差があって、子供も親もえっ？って思うことがある。
 - 学級経営については、子供たちの実態や学級の状況に応じて担任が工夫しながら取り組んでおりますが、その違いが保護者や児童に戸惑いを感じさせてしまう場合があることを、改めて認識いたしました。学校として大切にする共通の方針を共有しながら、それぞれのよさを生かした指導ができるよう、教職員間の連携をさらに進めてまいります。
- 学級通信の頻度が少ないので、教室の様子や状況、持参物などの周知が直前にお知らせされるなど、不安です。また学習面では、今の学年になり、基礎学習の確認がすごく減ったように感じ、学習面もやや心配です。
 - 学級通信や各種連絡について、ご不安な思いをお掛けしたことを受け止めています。保護者の皆様に学校や学級の様子を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。また、学習面においても基礎・基本の定着を大切にしながら、子供たち一人一人の学びを支えていきます。

貴重なご意見をありがとうございました。